

第51回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 平成25年6月24日（月） 15:00~17:08

場 所 神戸大学本部 大会議室

出席者 福田議長（学長）、天野委員、小林委員、川合委員、佐藤委員、高崎委員、平野委員、水越委員、武田委員、正司委員、藤田委員、根木委員、井上委員、内田委員、竹園委員、下林委員

（オブザーバー）石村監事、松井監事、佐伯学長補佐

欠席者 井戸委員、大橋委員、矢田委員

議事要録について

第50回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問、→：回答）]

1 学長選考会議委員の選出について

学長選考会議委員の選出について、審議の結果、斎藤委員の後任に川合委員を選出した。

2 平成24事業年度に係る業務の実績報告について

平成24事業年度に係る業務の実績に関する自己評価について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。なお、今後の修正については、学長一任とすることを併せて承認した。

○ EUに関して神戸大学が人材育成など様々な取組を行っていることがわかるが、その情報が社会に広く伝わっていない。もう少し広報の仕方を工夫するべきではないか。

→ 今年度から定例の記者会見を開始し、次回には主要なテーマとしてEU関連の取組を紹介したいと考えている。また、本学が幹事校を務めるEUIJ関西も第3期に入り、理系の要素も含めた文理融合型の活動を進めることとあわせて、社会への情報提供の在り方も主要な検討事項となっているので、情報発信にも力を入れていきたいと考えている。

○ 産業界をはじめ社会全体がかつて無いほどに教育・人材育成に関心を持っているので、大学側でもアピール方法を工夫していただきたい。

3 神戸大学ビジョンの実現に向けたアクションプラン2013について

神戸大学ビジョンの実現のため、学長裁量枠定員の新たな確保、部局等戦略定員の設定による部局等の戦略実施体制の見える化、及びメリハリある教員評価の実行の3つの行動計画を盛り込んだアクションプラン2013について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 大学の総定員が増加しない状況で、定員枠の再配分が必要になることは理解できるが、再配分の実施にあたっては第1期の学長裁量枠定員が有効に活用されたことの説明が必要となるのではないか。

→ 第1期の学長裁量枠定員はその7割程度が運営費交付金削減への対応に充てられており、実際に活用できたのは3割程度となっている。その定員の一部は大学の戦略策定・管理運営等の恒常的なポストに充てて既に規定枠化しており、残るポストを裁量枠として大型プロジェクトに採択された場合などに配置している。大学としてはポスト数も不足してきており、第2期の学長裁量枠定員の確保については教育研究評議会でも状況を説明し理解を得たところである。

○ 運営費交付金削減への対応を定員枠の供出だけで続けることは、大学としてもいずれ困難になるのではないか。その際には、外部資金を財源とした期限無しの教員ポストも検討する必要があるのではないか。

→ 有期雇用の教員をプロジェクト終了後も継続的に雇用する場合には代替ポストや財源確保の問題がある。大学としても検討を続けるが、中長期を見据えると組織全体の再編成を議論する必要があると考えている。

- 業績評価は企業でも苦勞しているところだが、今回の教員評価の本人への伝達や指導はどのような方法で行われるのか。
 - 大学全体としては教育・研究・社会貢献・大学運営に関する評価方針を示し、具体的評価指標・評価方法は今後各部署で決定することとしているが、評価を行う以上は被評価者への指導も可能な制度とすることを期している。
- 4 「統合研究拠点Ⅱ期整備事業」について

神戸大学のフラッグシップとなる全学の先端融合研究、及びポートアイランド地区におけるイノベーション研究をより一層推進するため、統合研究拠点の拡充を行うⅡ期整備事業計画について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。

 - 今回のプロジェクトは、神戸大学が神戸市の推進する医療産業都市構想の一翼を担う重要な事業であるという理解の下に取り組んでいただきたい。
 - Ⅱ期整備事業計画の中で説明のあった新規建物は、新たに設立される技術研究組合がリース料を支払うという理解でよいか。また、技術研究組合設立の目途は立っているのか。
 - 新規建物のリース料については入居面積に応じて本学のプロジェクト部分は大学負担とし、技術研究組合が入居する部分は組合が負担する。また、技術研究組合の設立準備は順調に進んでいる。
 - この組合が早期に成果を出して継続的に事業が実施される状況を作り出すことが重要と考えており、大学としても事業リスクをコントロールしつつ取組を進めたい。
- 5 平成24年度財務諸表等について

平成24年度財務諸表について、決算概況書及び附属病院決算に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。また、併せて、財務諸表に添付する事業報告書及び決算報告書について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 6 平成26年度概算要求について

特別経費、施設整備費補助金及び財政融資資金事業について説明が行われ、審議の結果、概算要求の要求順位について学長一任とすることで原案を承認した。
- 7 目的積立金の取り崩しについて

目的積立金取崩計画について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。

報告事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問、→：回答）]

- 1 国立大学のミッション再定義について

ミッション再定義の進捗及び今後の予定について報告があった。
- 2 研究大学強化促進事業の募集について

文部科学省が募集を行っている研究大学強化促進事業の概要について報告があった。
- 3 その他
 - ① 「キャンパスマスタープラン2015（ダイジェスト版）」について

「キャンパスマスタープラン2015（ダイジェスト版）」について報告があった。
 - ◎ 次回は、平成25年9月27日に開催予定。